

- 高齢社会に向けた3つの森づくり構想 -

タイプ	森林の役割	森林・施設整備のポイント	医療機関等との関係	森林活用プログラム
Aタイプ 医療・福祉の森	患者や要介護者のリハビリテーション等の場 入院患者や福祉施設の入所者の心身のリフレッシュの場	医療・福祉施設内、又はこれらの施設に近接する森林 リハビリテーション等の目的で定期的・継続的に利用できるよう、バリアフリーに配慮した歩道等の施設を整備	医療機関においては、医師の指示の下、患者に各種療法等を実施 福祉機関においては、フォレストセラピストの指導の下、入所者に各種療法等を実施	A1 リハビリテーションのための森林活用プログラム A2 園芸療法・心理療法のための森林活用プログラム A3 長期入院患者等のための森林活用プログラム
Bタイプ 療養・保養の森	病後の体力回復等のための自己リハビリテーションの場 都市部の中高齢者の保養の場	温泉や景勝地に近く保養地としての魅力を有する森林、又は比較的景観の優れたまとまりのある里山林であり、かつ、医療機関との連携が可能な森林 バリアフリーに配慮した歩道や利用の拠点となる施設を整備	医療機関との連携による健康診断等の簡易な医療サービスの実施 フォレストセラピストによる森林活用プログラムの提供	B1 体力回復のための森林活用プログラム B2 保養のための森林活用プログラム B3 転地療法のための森林活用プログラム
Cタイプ 生活習慣病予防の森 (健康づくりの森)	生活習慣病予防(健康づくり)の場 身体機能強化のための活動の場	身近な里山林を中心とした森林 利用者の体力に応じて選択可能な歩道や標識、ベンチ等の簡易な施設を整備	医療機関等の関与はほとんどなく、利用者自らが自主的に健康づくりを実施	C1 生活習慣病予防のための森林活用プログラム C2 身体機能の強化のための森林活用プログラム C3 林業体験と健康増進のための森林活用プログラム